

福岡県移住者子弟留学生 第1回報告書（6月）

テーマ

「自分の出身国の事。

福岡に来てから今日までのこと。」

在ボリビア福岡県人会
緒方 米倉 スサナ 優

中村調理製菓専門学校
製パン学科

初めまして。ボリビア県人会から来ました緒方米倉スサナ優と申します。ボリビアのサンタクルス州サンフアン市サンフアン日本人移住地生まれの日系三世です。

私は日本に来たのは二回目です。最初に来たのは2008年、小学校6年生11歳で海外福岡県人会子弟招へい事業に参加しました。今回は2回目です。

サンフアン日本人移住地は農業地帯で自然が多いところです。日系人は258家族住んでいます。

サンフアンでは中学校まで勉強し、高校と大学はサンタクルス市で勉強しました。週末はサンフアンに帰り青年のグループ活動に参加をしていました。

私の家族は両親と兄二人です。

父は1982年の福岡県移住者子弟留学生で木工の勉強をしたと聞きました。同じく兄も2015年に九州沖縄農業研修センターで稲作栽培方法を勉強しました。研修で習ったことを活かして父と一緒に稲作を陸稲から水田に変えて頑張っています。

私のルーツは父方の亡祖父は福岡県嘉穂郡出身です。亡祖母は高知県です。

祖父はサンフアンの第一移民として独身で移住したと聞いています。

母方の祖父母は長崎県出身です。新婚で移住してすごく苦労したと聞きました。大好きな料理好きなおばちゃんです。

今回福岡県移住者子弟留学生になりたかった理由は、小さい頃から祖父や両親が福岡県人会の行事に参加していた事もあり、私も県人会の親睦会や歓送迎会、福岡県の学生との交流会に参加させていただきました。そこで色々な方から福岡の話聞いて、関心を持つようになり、いつか自分も行ってみたいと思い、今回応募させていただきました。

中村調理製菓専門学校選んだ理由は、幼い頃から料理好きな両親の元で育った私はその影響で大学は美食の勉強をしました。

四年間でいろんな科目がありました。調理やパンや製菓など最初の一年目に学んだパンの科目がとても興味ぶかったのを覚えています。それから卒業までの3年間の間に、兄がJICAで研修生として日本に行き、パン嫌いだった兄が

『日本のパンはめっちゃくちゃ美味しい』と言ってパン好きになって帰って来ました。そんなパンを食べてみたい、作れるようになりたいと言う思いが強くなり、今回福岡県の県費留学生としてチャンスをいただいたので選ばせていただきました。

中村調理製菓専門学校入学試験を受けるため、他の留学生より早く福岡に来る事ができましたので、前年度の福岡県費留学生と交流ができました。日本での生活について不安だった私に電車やバスの乗り方、学校までの行き方を教えていただき感謝しています。福岡での生活が始まって三ヶ月が過ぎ、中村調理製菓専門学校の入学式は四月二日に無事終わり、新型コロナウイルスの影響で授業は五月十八日に始まりました。友達も増えて寮の生活にも少し慣れてきました。新型コロナウイルスの影響であまり外出ができないので、早くコロナがおさまってほしいです。私と同期の留学生が来ないことになり今年は私一人なので残念です。

この一年間の目標は、より多くの日本のパン屋さんとカフェに行くことです。将来は美味しいパンを提供するおしゃれなカフェを開きたいと思っているので参考にできることをたくさん学びたいと思っています。